

稻一猪入石石井飯岩泉岩伊岩池伊井  
田柳野交坂坂上田原本野戶內野上  
龍松馬太晴岩武俊正芳仙恒辨實重  
大次郎郎藏英太重廣雪輔吾吉吉吉明兄

池石池入井幾岩池入池猪井池市池井岩  
田川木上井内本交知野上原本元村  
利道真實三源重綱辰誠賴辰之  
郎涉長茂修水叶行律郎治壽次進泰享信吉助

五三八	五一四	四九八	四七一	四六八	四六四	四六〇	四五三	四四八	四三五	四二一	四〇九	三九九	三七七	三六三	三四一	三二一	三〇一	二八九	二六七	二四五	二二三	二〇一	一八九	一六七	一四五	一二三	一〇一	零八九
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

凡

例

、本書の編輯は、材料の集まる順序によつて筆を執つたから、從來の言葉で謂ゆる次第不同であ  
る。

に

西西西西西西仁西西西西 濱橋春濱橋原濱林  
内本田岡野尾山山山川詰田田口田  
龜直錄貢部健儀岩萬祐千茂  
太太太里維太閣極德龜一三之  
郎郎郎吉城郎進二山治七一郎郎稔助之尋彌

五三元云美先五全六云五  
七七七七七七七七七七七七

は

濱服橋橋之井泉井伊泉板入猪井岩岩井今池  
田部本田上井上丹谷原交野上井井上村川  
部榮卯卯卯卯貞  
彦久善早太守可之彦重盛博太峰太兼  
藏吉勝苗郎一澄八治義嗣範郎儀寛吉郎吉

七六六六六六六六六六六六六六六六六六六六

ほと

友野之穗堀穂細之二西西西西西西西西  
永老之岐見岐川宮山尾田内本内内岡  
安山館山山嘉部仁政寅  
太萬虎時治一繁常信基義篤武次四  
郎齊視衛衛次郎次吉良久八盛行彦郎郎

六三七七七七七七七七七七七七

濱林秦原春橋原畠原秦原畠濱濱濱畠畠馬  
田田田木中中田川口田中中場  
龜親唯金定  
太備教富次邦福親重卓耕十柳太愷義敬  
郎德敏一一治郎雄馬芳壽彌式郎吉郎夫雄春

七七七七七七七七七七七七七七七七

岡岡尾大岡岡小小岡尾小岡岡大継大岡大太  
村田立井豊村川野田崎島林崎石田栗次鬼西田  
梅健良治功三吉正益信正金眞左之正辨  
茂茂樹茂憲省堯明利莊爾衛枝重壽門助幹吾

六四五六四五五三三三三三三三三三三三三三三

大小小岡大亭岡岡大小岡岡尾小大小尾岡岡  
久川澤林久坂田村谷笠村崎立笠野原立本林  
保國保原原角原源良虎勇  
千汎三直廣岩重秀廣重之圓正次  
濤滋郎枝元吉直美定志勇喜助次一郎猪繁吾

三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

ち  
富得土堂豊富戸利土富德土德東德德  
之田能居野本永梶居岡居田岡居平條久弘直  
部庄莊幸政  
敏通駒三多宗義一秀輝次鶴之幸順左衛  
英貞吉郎市範正郎雄吉郎次助吉吉勇鴻門

吉六七空三〇四九四七七七七七七七七七七七七七

おぬ  
大岡岡岡大岡岡小大岡岡之沼近千丁  
石村崎原峯林川脇林内森頭野  
兵長眞祐之補澄幾敏海茂松治  
象馬藏積一助吉夫司輝一連樹亭次喜

三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三

か わ

桂川川片川之和和和和之小大大岡岡岡奥  
井口村岡崎田田野西井宗本本崎村  
庄部吉部松  
學虎嘉武五綱達太知正源政利正重太富  
司衛市雄郎三馬郎求喜吉雄八壽治郎馬

蒲櫻川上川柿刈鍵鍵川刈片櫻櫻勝川門金川  
原谷久村添本谷山山崎谷岡谷田田脇澤崎  
保常春幾  
義豊徳太秀豊喜太熊正政一利金三  
正廣泰實馬郎穂治時益助幹功鶴雄彦治清郎

空空天五五異異四四異異空空空空空空

空空空空空空空空空空空空

よ

依吉横吉吉横吉吉依吉之川梶柏片川川川  
光本山田本矢山本村岡岡島佐原桐村島村  
牛銑久部古益猪  
之良又具重太太近莞勘正元一仲太之泰  
助一吉司榮包郎郎次爾平秀枝郎二郎助啓

川鎌片門門門川川金川川川川門川門川香  
島田岡脇矢崎本子谷淵島島田田村川  
保卯餘芳幸源源豊  
次正信卓太所三輝楠横治十正右福太虎  
郎治滋朗郎雄郎治馬雲馬郎件門壽郎學雄一

空空天五五異異四四異異空空空空空空

空空空空空空空空空空空空

高谷武竹高田田高武園武田竹棚高武瀧高武  
野 内村村 所中村市野 内中内橋島正本 本市  
源 利茂梧 實健義 春 氏浩義德精五三  
吉博張義樓孝次吉吉肇吉實馬二則夫一郎郎

三七五四五四五四五四五四五四五四五

つそ  
都鶴塙辻 之曾堀 之 谷田田武田多谷高高多  
築見本 部 我田 脇村 村井 中田岡田 橋 健  
兵宗利 琢 長太 實喜 鹿 太代 良九 龜直隆 幸二  
左利男磨 次郎 郎太吉郎馬治吉實吉郎

四六三九五 五七五 三三三三三三三三三三

た  
高竹高竹谷 依米吉吉吉吉吉横横横吉横吉横  
島内木村 光澤本田田田田田川矢岡矢  
部 福 元龜 光  
正壽契茂信 豊一善春登三太龜太清庄正順  
旭龜樹雄讚 吉郎次壽馬郎郎吉郎徵藏博介

五四五四五四五四五四五四五四五

竹竹高田武田竹田田竹谷瀧田谷竹田多武竹  
村内原村内野崎所村村川島脇中田内村  
伊小岡貞流知正賀右衛門信之友十  
謙英三太元五助次三省郎昇郎吉郎吾實郎水章夫輔元助一郎

三三三三三三三三三三三三三三

三  
四

植上內宇宇白字  
田田田田井田  
日友鹿耕  
出紫菊四與太  
雄惠郎一  
村村村村村  
木上田田田  
熊久稻  
雅正辰太太  
幹豐衛郎衛郎  
也次  
武藤藤三  
也  
長國  
田  
部  
龜  
貞龜  
惠龜

六 六六 三九六 四五 四六 四七 四五 八一 八二 八三 八四 八五 八六

6

之部 植魚宇  
田住喜政  
太孝之助郎  
吉夫郎  
通喜吉愛治郎忠一馬郎助郎郎之吉

大三 六六 七八 三三 二二 一七 一九 一三 二五 三三 四五 八六 五三 五三 五四 五五 五三 五三 五三

な

都常辻津之野築光内利大之美龍馬代競代吉助夫吾夫之夫助之馬次吉樹次三馬助之吉義吉

七  
五  
癸  
九  
九  
一  
九  
三  
三  
四  
四  
八  
八  
五  
五  
三  
三

成鍋中永中中中長並長長永中長南中中中  
岡島屋井島島城崎村尾尾野村尾部島島島西  
喜惇  
楠運之福肇一龜總峰利修信忠覺成壽町  
彌猪助吉造樹郎彌七馬枝身之觀博衛功馬衛

山山大山山山山山八柳山山安山山山山柳山  
本本和岡本地本崎井瀬岡崎並本本崎崎瀬田  
豊猪廣捕淺導茂八之正長嚴嘉  
吉助榮馬樹林吉壽實寬郎斌助己藏龜猛勇治

五五四五四五四五四五四五四五四五

ま

前松前松松松松松之山山山安安山安山八  
田岡田村本原岡井村田村本岡岡崎岡崎井  
政正部銳伊龜田  
基寅芳誠治之松松太一五貞太茂朝太  
晴八吾二一助喜吉郎郎吉郎毅嚴治郎寬

三三三四三四三四三四三四

桑窪國窪楠公久久倉楠黑久國栗黑國之野  
名川吉田瀬文保米橋瀬瀬萬吉田岩吉村  
董清淺慶利直象太光馬常貞清好  
延清次馬吉吉巳一繁郎則吉郎助幹吉次久

六六六六六六六六六六六六

や

山山矢矢山山山山八山安山山山山山之公久  
崎脇田作本西井下並本崎本本文保  
國房田源部  
太信輝馬博次嘉宏善秀三義忠慶忠  
郎平勇健美太章郎稔平篤吾吉郎孝秀爾直

七七七七七七七七七七

乙  
小小幸小近小小近小小小小之藤藤船福福  
松松川牧藤松松藏西松松林尾田谷留留  
信彌熊寅龜部喜  
之隆源徳楠太牛靖之義吉米民良志國彌元  
助與治身吉郎次雄助卓郎吉吉則雄治通徳

空空空西四元元空空一空天元九言空空空五

### あ て え

浅秋上安上秋明之寺寺寺之蛭戎之小小小  
井田田藤田澤石田尾田子井松松松  
治喜部岩部長部悦近密  
茂芳虎三熊三久省二善九春太之五  
猪馬次郎吾郎治三郎吉郎次郎助郎

元空空空空空空空空空空空空空空空空空空

前益前町松町松前前松町松松松馬松松松前  
田井田井岡田岡田田村淵井山村田  
嘉喜佐榮  
治長寛四堇市太陽芳庸之義幸重秀太堯  
細次雄郎作郎龜治樹先助景松馬裏美資

空空空空空空空空空空空空空空空空空空空

### ふ け

福福福藤藤藤織古深藤福藤藤下之松松  
田島永島宗尾澤谷澤谷澤村島澤田司  
正喜富部部次安  
早五萬元民重久重徳磯士喜凍良太  
苗郎治治藏喜薰治喜薰次彌馬郎月吉郎

空空空空空空空空空空空空空空空空空空空

み

宮宮宮宮溝宮見水見溝宮宮溝水宮  
 地田崎崎淵村淵浦田元野元淵田本淵野地  
 左正福勇惠吉拾於地部  
 右專五開幸太太豊管喜太弘吉繁楠太兎  
 七一郎作馬郎郎雄治馬郎尙衛樹保郎彥嚴

壹吉義翁昇昇元元元元元元元元元

ひ し

廣廣之白秦嶋芝下壠下壠島島白下下正芝之  
 井潮岩泉崎崎村田元田內田石川川田藤  
 部寺鹿部  
 益丹秀幌五甚次徳之松保廣雀濱  
 水吉夫龜郎吉男馬助元南傳平海得廉市

四三三三三三三三三三三

さ

佐里佐坂坂坂齊齋櫻齋有天有青青赤上淺  
 川見竹本井本山藤木藤澤野安木木瀬田井  
 嘉兼島部正晴治太重又太健琢官市榮茂忠榮玉  
 薫矣記馬郎壽吉郎一磨一芳次憲恕清治惠

壹吉義翁昇昇元元元元元元元

き

清清北北北北北北坂坂澤坂澤崎坂佐  
 岡岡岡川岡村澤村村本本本村本谷田本藤  
 駢喜龜鹿甚左部宇賢萬久太太三久秀治鐵氏元勝久氏清  
 太郎三次馬郎郎郎馬實吉次富治節喜森富藏

四三四三四三四三四三

近代土佐人

山本忠秀氏

數年前の大患時に、多田牧師から洗禮を受けて、基督教信者となり切てからの山本忠秀氏には、普通の肉眼には映じない心靈上の一大轉換が行はれたことを、床かしく想像して、一入敬仰の情を新たにするものがある。山本氏は次來神を見るに相應はしき性格の持主である。嚴父賢一郎翁が全村民から其の徳を慕はれて、氏神の社頭に立派な顯彰碑が建てられてある一事で、岩村の殿様の光りが永く後代せ傳はるであらふことを考へるまでもなく、將た賢息忠興博士が、夙に敬虔なるクリスチヤンたる其の篤信情緒を、此處に引用するまでもなく、心の清き者は幸福なり其の人は神を見ることを得べければなりと基督が言つた通り、地上に人間と爲つて以來 心の清き点において、終始一貫した山本氏である。年小の時から板垣伯を景拜し 片岡健吉氏を尊信して、其の活きた感化を受けた因縁が、氏の品性に一段の磨きをかけて、水晶の如き八面玲瓈の人物に仕上げた所以だと

七

久廣廣廣久樋廣廣平  
久廣廣廣久樋廣廣平  
武松松瀨口末田田  
熊伊馬靜榮  
太佐之  
太久太佐之  
立唯  
政部  
恒淳秀彦  
田田木木本岡利  
之森森森森森森元毛

三〇一 四三 四八 五三 五七 六三 六五 七〇 七八

す せ

森森森森森森  
岡本本本本本  
猪十清泰  
篆部  
之部  
關川部  
助石彌澄藤木江藤本美多勝久邦庸治志太稻  
鈴鈴菅菅杉壽藤  
須須須須須須  
藤藤藤藤藤藤

天三 穀一 天元 六火 七三 五六 五  
天二 穀二 天元 六火 七三 五六 五  
天一 穀三 天元 六火 七三 五六 五